



研究テーマ

1 飼育環境や個体の個性と繁殖行動や繁殖成績との関連に関する研究

2 子豚損耗低減化に関する研究



右京 里那

うきょう りな
農学部農学部門動植物資源生命
科学領域

助教

キーワード

デグー、アニマルパーソナ
リティ、社会的隔離、スト
レス行動、分娩関連行動、
実験動物、家畜、コミュニ
ケーション特許情報・
共同研究・
応用分野など同腹子との同居はストレス
か?デグーを用いた生後早期
の社会的隔離の間接的影響
の検証
2025年04月～2029年03月
若手研究
スマート技術を活用した子
豚損耗低減化事業
2023年04月～2026年03月
公益財団法人全国競馬・畜
産振興会畜産振興事業

研究概要

飼育下の動物の繁殖成績向上を目指して、小型齧歯類(特にデグーに注目しています)や家畜を対象に、行動のような生体レベルで見られる現象に着目した研究を行っています。

1 飼育環境や個体の個性と繁殖行動や繁殖成績との関連に関する研究

動物飼育現場では、適正な管理を行い個体群を維持繁殖することが重要な活動の一つです。適正な管理を行うことが繁殖成績率の向上につながるため、どのような飼育環境がどのような影響を及ぼすのかを調べています。成体同士はどのような組み合わせのペアにすると良いのか、生まれてきた子をどのような環境で飼育すると、繁殖成績の良い成体へ成長するのか、などに着目しています。



2 子豚損耗低減化に関する研究

養豚現場では、生まれた命の約10%が分娩後約72時間の間に失われています。分娩開始から、できる限り早い段階で必要に応じて人為的な介助をおこなうことで、これらの損耗を低減できる可能性が高まります。そこで、作業者の負担を軽減しつつ人為的介入にスムーズに入れるようなシステムを目指し、分娩前の母豚の行動から、分娩開始時間や、損耗を起こしてしまうリスクの高さなどを予測するためのモデルの構築を進めています。

ホームページ

技術相談に応じられる関連分野

・動物の行動解析が必要な研究

メッセージ